

そうこう

装潢文化財の修理

－ 材料・道具と技術者の育成、確保 －

令和4年8月22日 文化審議会 文化政策部会

選定保存技術保存団体

一般社団法人 国宝修理装潢師連盟

選定保存技術保存団体

そう こう

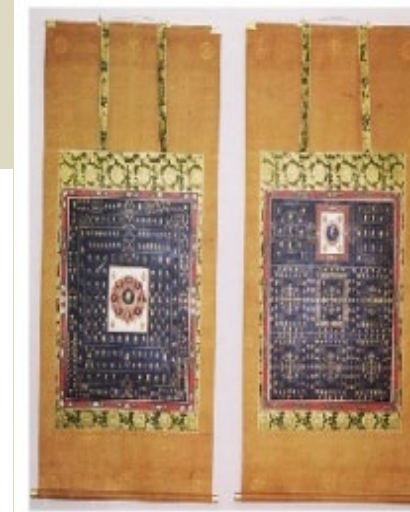
国宝修理装潢師連盟

昭和34(1959)年 設立

平成07(1995)年 選定保存技術「装潢修理技術」
その保存団体に認定される

加盟工房(五十音順)

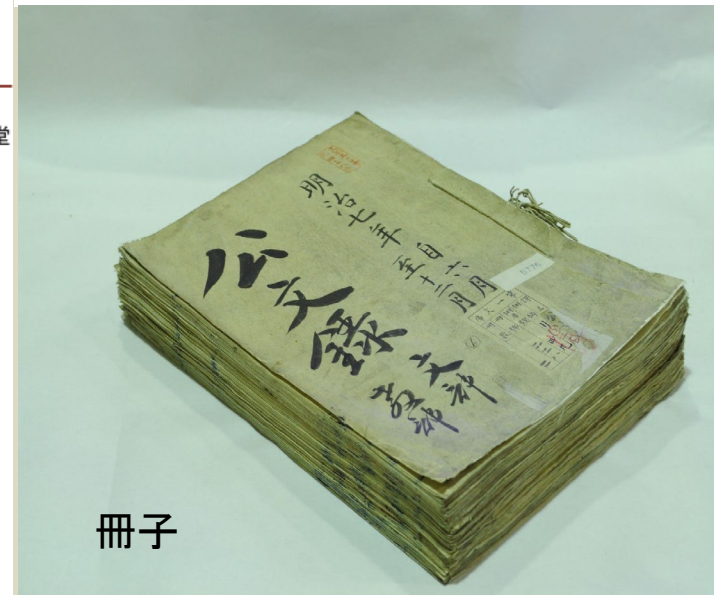
- 株式会社 岡墨光堂〔京都〕
- 株式会社 光影堂〔京都〕
- 株式会社 坂田墨珠堂〔滋賀〕
- 株式会社 修護〔東京〕
- 株式会社 修美〔京都〕
- 修理工房 宰匠 株式会社〔福岡〕
- 株式会社 松鶴堂〔京都〕
- 株式会社 半田九清堂〔東京〕
- 株式会社 文化財保存〔奈良〕
- 株式会社 墨仁堂〔静岡〕



掛軸



襖



冊子



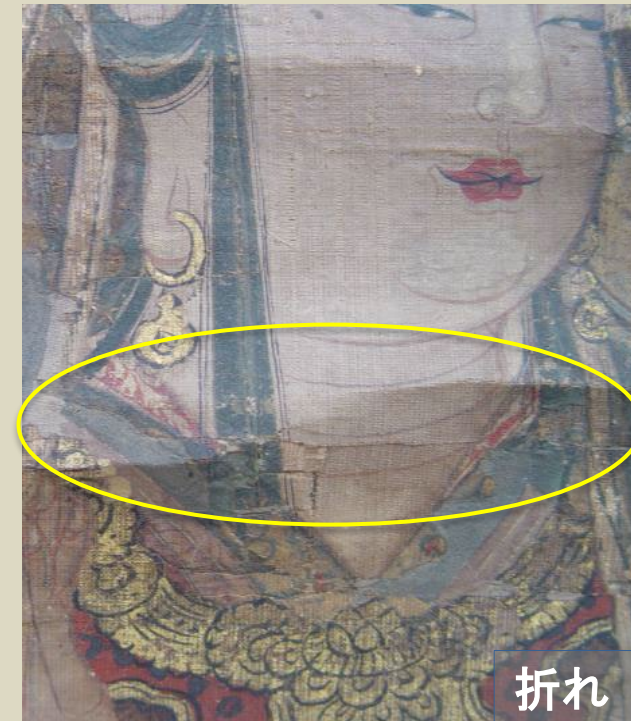
卷子

定期的な修理の必要性

絵画や書跡は絹や紙などの脆弱な材料でできている

何もしなくても、糊や膠(にかわ)の劣化等により、絵具の剥落や破損が生じる

修理が繰り返されることで、数百年残ってきた



新型コロナウイルスが文化財修理に与えた影響

| | A社 | | B社 | | C社 | |
|-------------------------------|-------------|---|-------------|---|-------------|---|
| | (基準値) | | (基準値) | | (基準値) | |
| 令和元年度(2019) | (基準値) | | (基準値) | | (基準値) | |
| 令和2年度(2020) | □ □ □ □ □ □ | ↓ | □ □ □ □ □ □ | ↓ | □ □ □ □ □ □ | ↓ |
| 令和3年度(2021) | □ □ □ □ □ □ | ↓ | □ □ □ □ □ □ | ↓ | □ □ □ □ □ □ | ↓ |
| * 各社それぞれの年度で、令和元年度の基準値と比べた減少率 | | | | | | |

- 文化財の所有者であるお寺や神社の経済状況が悪化
⇒ これまで文化財修理にかけてきた人的・財政的余裕がなくなっている
- 美術館や博物館の活動の停止・縮小も、大きく影響

文化財修理に関する3つの観点

1. 修理技術の継承

2. 材料・道具の確保

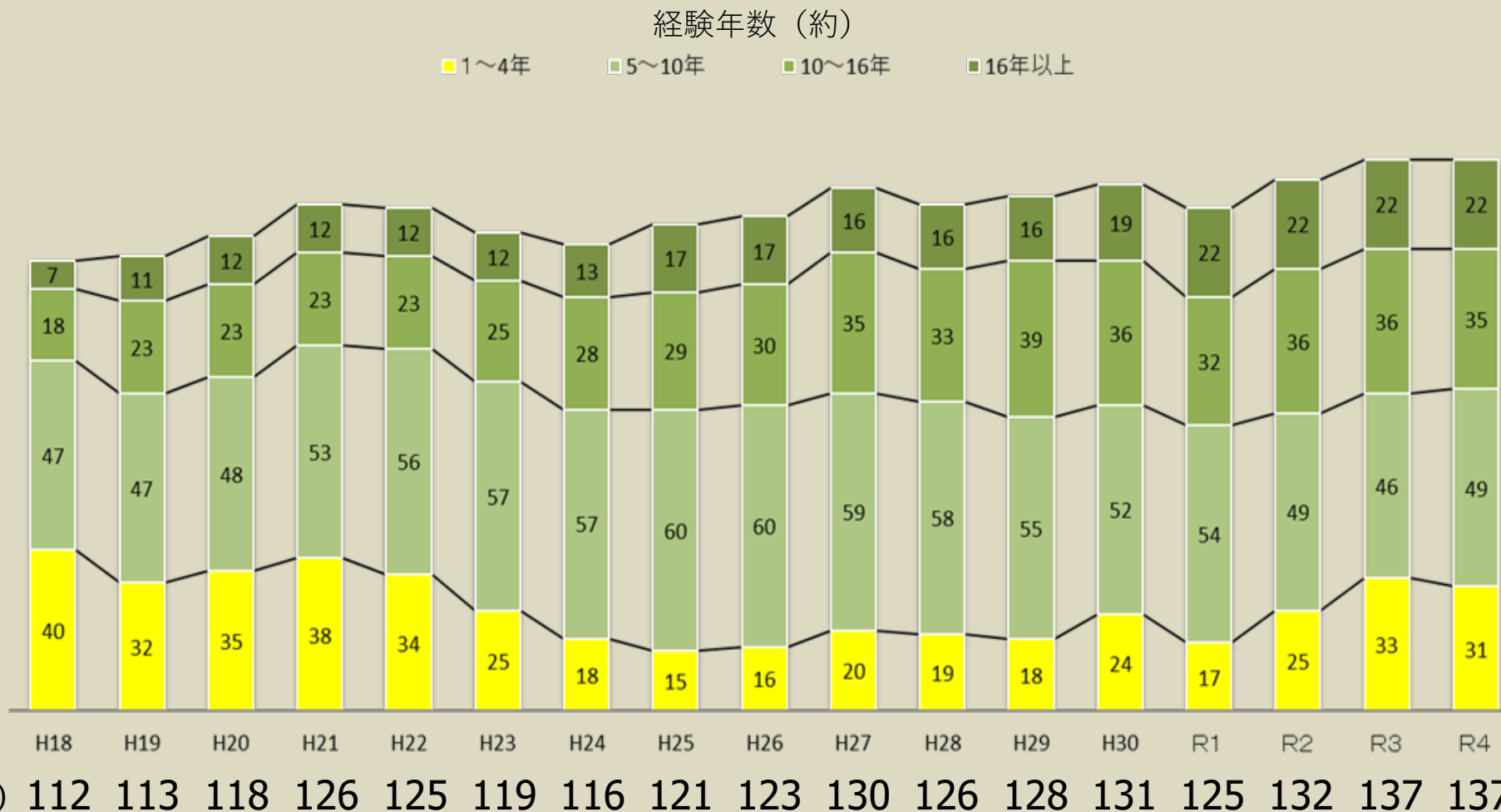
3. 普及啓発



1. 修理技術の継承

技術者育成の実情

修理技術者（装演分野）数の推移（平成18年～令和4年）



修理技術者（装演分野）数の推移

※経験年数は年数の若い順に装演師連盟資格制度における技師補・技師・主任技師・技師長の人数であり、必ずしも実際の就業年数とは一致しない

2. 材料・道具の確保

材料・道具の保護の必要性



紙各種 (用途に合わせて使い分ける)



古糊 (小麦デンプン糊を約10年寝かせる)



国宝 檜図屏風
狩野永徳筆

解体修理により明らかになった知見を、
東京国立博物館HPにて情報発信

修理過程での発見—— 墨書と唐紙文様

解体修理では、作品に蓄積された様々な情報が明らかになることもあります。

本作品では、各扇の本紙裏から屏風に改装された時のものと思われる「一」から「八」までの数字や、第2、5、6、8扇の本紙裏からは「山水桧」のような墨書が発見されました。

さらに、過去の修理で補修紙として用いられた、^{ごしちのきりもん*}五七桐文を雲母で摺った^{からかみ}唐紙の文様が転写された跡とみられるものも発見されました。

調べてみると、同じ八条宮家伝来で宮内庁三の丸尚蔵館所蔵の「花鳥図屏風」から発見された唐紙の文様や、八条宮家の別邸であった桂離宮古書院の襖の唐紙文様と、形・大きさ・散らし方までも一致し、八条宮家に縁の深い^{ゆかり}文様の唐紙であることがわかりました。（沖松）

まとめ：第2期基本計画に期待すること

1. 修理技術の継承

継続的な修理の実施が技術者を育て、技術が継承



- ◎適切な修理周期に基づく安定的・継続的な修理事業が必要
- ◎修理技術者養成の研修機会を確保

2. 材料・道具の確保

修理に必要な材料・道具を保護し、それらに携わる後継者を育て



- ◎材料・道具に関する技術者養成の研修機会を確保
- ◎材料・道具確保のための管理業務への支援

3. 普及啓発

文化財修理に対する社会の理解が深まり、適正な修理の実施を後押し



- ◎文化財修理後の情報発信
(修理で得られた発見なども発信)
- ◎材料・道具に関する情報発信

これら修理技術の継承や用具・原材料確保に関わる課題解決の拠点(ナショナルセンター)としての文化財修理センター(仮称)



文化財を、教育普及や観光に活用しつつ、次代に守り伝えていく